

所在地・組織図



Chiba Prefectural
Agriculture and Forestry
Research Center

千葉県農林総合研究センター

所在地一覧

農林総合研究センター

本場
〒266-0014 千葉市緑区大金沢町180-1 ☎043-291-0151 FAX043-291-5319
(総務課、検査業務課、病害虫防除課、研究マネジメント室、最重点プロジェクト研究室、流通加工研究室、野菜研究室、果樹研究室、花植木研究室、土壌環境研究室、病理昆虫研究室、生物工学研究室)

病害虫防除課北総分室
〒287-0003 香取市佐原イ92-11 ☎0478-54-4582 FAX0478-54-4550

病害虫防除課南総分室
〒294-0045 館山市北条402-1 ☎0470-22-8171 FAX0470-23-2189

落花生研究室
〒289-1113 八街市八街へ199 ☎043-444-0676 FAX043-444-0676

暖地園芸研究所
〒294-0014 館山市山本1762 ☎0470-22-2603 FAX0470-22-2604
(特産果樹研究室、野菜・花き研究室、生産環境研究室)

水稲・畑地園芸研究所
〒287-0026 香取市大根1285 ☎0478-59-2200 FAX0478-59-2100
(畑地利用研究室)

成東育成地
〒289-1326 山武市成東532-1 ☎0475-82-2054 FAX0475-82-2054

東総野菜研究室
〒289-2714 旭市三川14886 ☎0479-57-4150 FAX0479-57-6373

水田利用研究室
〒287-0822 香取市佐原二325 ☎0478-56-0002 FAX0478-56-3042

水稲温暖化対策研究室
〒266-0021 千葉市緑区刈田子町85 ☎043-292-0016 FAX043-292-0059

森林研究所
〒289-1223 山武市壺谷1887-1 ☎0475-88-0505 FAX0475-88-0286



詳しくはホームページへ <http://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/>

ちば 農林総研

検索

令和6年4月現在



農林総合研究センターの研究・業務

本場

総務課

一般業務の総合調整、土地・建物などの維持管理、環境整備、安全衛生及び人事、サービス、給与、手当、福利厚生、予算、決算などの業務を行います。

検査業務課

肥料法及び飼料安全法に基づく肥料・飼料の登録・届出・立入検査を行います。また、肥料・飼料の依頼分析を行います。



法律に基づく肥料・飼料の検査業務

病害虫防除課

植物防疫法に基づき、農作物病害虫の発生状況等を調査・解析し、情報を発信します。また、農業取締法に基づき、農産物販売者・使用者に対し農業の適正管理・安全使用の指導を行います。



ナシ園での病害虫発生状況調査

研究マネジメント室

企画・連絡・調整を通じて研究業務の円滑な推進を目指します。また、経営研究部門では新しい技術の導入の経営評価を行い、これらの普及を促進する研究を行います。



サツマイモ収穫にかかる作業時間調査

最重点プロジェクト研究室

「みどりの食料システム戦略」の取組方向に沿って、これまでの収量を維持しながら環境負荷低減と作業軽労化の両方を実現する技術の開発と実証に取り組めます。



ネギ害虫アザミウマを捕食中のキイカブリダニ

流通加工研究室

農産物の流通・加工技術、品質評価、機能性等農産物の高付加価値化技術の開発、県産農産物の品質向上や販路拡大のための課題などに取り組めます。



イチゴの糖度測定

野菜研究室

施設野菜(トマト、キュウリ、イチゴ等)及び都市農業地域の野菜生産に関する試験研究及び調査とイチゴの品種育成を行います。野菜などの原原種の維持、管理を行います。



最新環境制御技術によるトマトの高収益栽培

果樹研究室

日本一の栽培面積を誇るナシについて、新品種育成に取り組むとともに、改植促進や省力化等に関する技術開発を行います。また、ナシ以外の落葉果樹の試験研究を行います。



育成したナシ(秋満月)

花植木研究室

鉢花・花壇苗類、植木・観葉類の高品質・低コスト生産技術や品質保持技術、植木類の海外輸出に対応するための技術開発及び県木であるイヌマキ類の品種育成に取り組めます。



ビートモスに鉢上げた輸出用植木

落花生研究室

全国で唯一の落花生専門研究室として、落花生の新品種育成を中心に、栽培に関する試験を行います。また、優良種子及び遺伝資源の維持管理を行います。



千葉P114号(Qなっつ)

土壌環境研究室

農耕地土壌の実態と変化に基づいた適切な肥料と堆肥等有機物の施肥法を確立します。また、肥料や農業による環境負荷を小さくする環境にやさしい農業技術の開発を進めます。



土壌断面調査

病理昆虫研究室

農作物を加害する病害虫について、その生態を解明し、様々な技術を効率的に組み合わせた「総合的な病害虫管理技術」を開発します。また、病害虫の診断を行います。



ダイズシストセンチュウ

生物工学的研究室

組織培養、DNA鑑定等のバイオ技術を利用して、迅速な品種育成法、迅速で高精度な病害虫診断法、環境にやさしい病害虫防除法等を開発します。



病原菌検出のための遺伝子増幅実験

森林研究所

二酸化炭素の吸収、洪水の緩和、飛砂・防潮、木材供給など、多くの機能を持っている森林の持続的な維持に役立つ技術の開発に取り組むとともに、花粉症対策に対応した少花粉スギなどの林業用優良品種の種子生産を行います。



ドローンを活用した松くい虫被害木探査技術の開発

水稲・畑地園芸研究所

暖地園芸研究所

畑地利用研究室

北総台地で栽培の多い畑作物や露地野菜の作業の機械化・省力化、高品質・安定生産などの技術開発に取り組めます。また、畑作物・いも類の原原種の維持管理も行います。



いも形状が優れるウイルスフリー選抜系統

東総野菜研究室

東総・九十九里地域の特産野菜、加工・業務用野菜(キャベツ、ダイコン、ネギ、露地メロン、スイカ等)について、高品質・低コスト生産、省力化、施肥管理等の技術を開発します。



生産者とキャベツの有望品種を検討

水田利用研究室

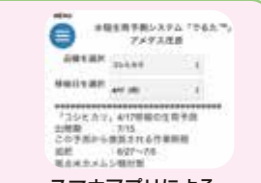
気候変動に強く、経営規模拡大に対応した良質良食味水稲品種を育成し、普及定着に向けた栽培試験を行います。また、土地利用型作物による水田の高度利用に関する試験を行います。



新品種育成のための人工交配

水稲温暖化対策研究室

温暖化等の気候変動が水稲に及ぼす影響の解明と対策や生育予測・診断技術を確立します。また、経営規模拡大に対応した栽培管理や高品質で良食味な米の安定生産に関する技術開発を行います。



スマホアプリによる生育予測(一部抜粋)

成東育成地

本県で栽培される水稲主要品種の種子の基となる原種を生産し、種子組合に配付します。原種の純度を維持するとともに、水稲種子の安定生産及び高品質化に関する研究を行います。



品種特性維持のための異型株採取作業

特産果樹研究室

南房総地域で栽培されるピワ、カンキツ及び亜熱帯性果樹等の暖地性果樹について、品質の良い果実を生産する栽培技術の開発をするとともに、ピワの品種育成を行います。



ピワ収穫盛期予測法(幼果の縦径計測)

野菜・花き研究室

南房総地域の特産野菜や切り花の栽培技術を開発します。また、病害に強いナバナやカラーの品種育成を進めます。



根こぶ病に強いナバナ品種の育成

生産環境研究室

南房総地域の花や果物、野菜で問題になる病害虫の防除対策を確立します。また、近年の気候変動が病害虫の発生に及ぼす影響や、増加する野生獣の被害に有効な対策を解明します。



ナバナ根こぶ病試験ほ場